

保護者に代わり病児送迎 埼玉・戸田市、12月に開始

2020/11/30 19:19 | 日本経済新聞 電子版

埼玉県戸田市は1日、保育所や幼稚園で体調不良になった子どもを看護師が預かり、タクシーで病院や病児保育室に送り届ける事業を始める。仕事で迎えに行けない保護者をサポートし、子育てを後押しする。

埼玉県のモデル事業として2023年3月まで実施する。子どもが体調不良になった保護者の電話依頼に対し、戸田中央総合病院が看護師や保育士を施設に派遣する。病院で診察した後、院内の病児保育室で子どもを一時的に預かる。

利用には病児保育室への事前登録が必要。タクシー代など交通費は公費で支出し、保護者は保育室の利用料金（1日2100円）を負担する。県内では熊谷市も同様のシステムを19年に始めている。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.